

白井市地域福祉計画 計画書の構成（案）

1 計画の概要【3頁～5頁】

(1) 計画の位置づけ

基幹計画（総合計画との関係、健康福祉分野の個別計画との関係）、社会福祉協議会で策定する『地域福祉活動計画』との関係も含めて位置づけを記載します。

(2) 計画の期間

平成29年4月～平成37年3月（9ヵ年）を基本とします。平成33年度に中間見直し。

ただし、地域福祉計画の見直し検討の時期が、総合計画（平成28年4月～平成37年3月）の改定に向けた検討時期と重なるため、本計画の計画期間を1年ずらして、平成29年4月～平成38年3月（10ヵ年）とすることも検討中です。

(3) 計画の前提

人口および世帯推計・高齢化率・児童数・障がい者数など、計画の前提となる事項や福祉に関する白井市の特徴などについて、図表等で簡潔に示します（別紙 資料を参照）。

※地区区分については、小学校区を基本とします。

※課題については、「4 施策の展開」で簡潔に記述します。

2 基本的な考え方【5頁～8頁】

(1) めざす姿（目標像）

10年後の白井市の地域福祉の「実現したい姿」を策定し、解説します。

〈参考〉『基本構想』の将来像：「ときめきと みどりあふれる 快活都市」

(2) 基本方針

『基本構想』の3つの基本理念をふまえ、地域福祉計画の基本方針を策定し、解説します。

〈参考〉『基本構想』の基本理念：「安心」「健康」「快適」

(3) 基本目標

「めざす姿（目標像）」や「基本方針」を実現するための「基本目標」を策定し、解説します。

〈例1〉「備える」「育む」「支える」

〈例2〉「きっかけづくり」「関係づくり」「担い手づくり」

3 戦略プラン【4頁～7頁】

(1) 地域福祉の基本的視点

『基本構想』で掲げられている、以下の5つの「まちづくりの基本的視点」に即して、地域福祉版の基本的視点を設定します。

「若い世代・定住」

〈例〉子育て・子育ち、三世代同居・近居、子どもや高齢者の見守り など

「農・みどり」

〈例〉自然と触れるなかでの健康増進、セラピー など

「にぎわい・交流」

〈例〉子ども～高齢者の集い、多世代交流 など

「拠点・移動」

〈例〉地域での福祉の拠点、小さなサロン、民間施設の活用 など

「風景・憩い」

〈例〉快適な住まい、安心して暮らせる環境 など

※福祉分野に関わる個別計画の単なる寄せ集めではなく、包括的な視点を目指します。

(2) 戦略プランの考え方

健康福祉セクションが中心になり横断的に展開する戦略的な取組である旨を解説します。

(3) 戦略プラン

①戦略プラン1 …… 総合計画の戦略1「若い世代定住プロジェクト」に関連する分野

〈例〉地域で見守る子育て・子育ち

子ども～高齢者まで多様な世代が笑顔で暮らす地域づくり

②戦略プラン2 …… 総合計画の戦略2「みどり活用プロジェクト」に関連する分野

〈例〉自然と触れ合う健康づくり

③戦略プラン3 …… 総合計画の戦略3「拠点創造プロジェクト」に関連する分野

〈例〉地域で多様な世代が交流し支え合う

身近なサービスを提供し支え合う地域の拠点づくり

4 施策の展開【10頁～15頁】

「基本目標」に沿って、地域の主体ごとに主要な施策を策定し、整理したうえで記述します。

〈例1〉作業部会での検討イメージ

地域の主体 テーマ 基本目標	地域の主体					テーマ				
	子ども	障がい者	高齢者	成人	地区社協	健康	生活困窮	学習	孤立	+ α
備える										
育む										
支える										

〈例2〉作業部会での検討イメージ

地域の主体 テーマ 基本目標	地域の主体					テーマ				
	子ども	障がい者	高齢者	成人	地区社協	健康	生活困窮	学習	孤立	+ α
きっかけづくり										
関係づくり										
担い手づくり										

※「基本目標」ごとに部会を立ち上げ、各作業部会で主要な施策（表の空欄）を検討し、作成していくことを目指します。

その際には、地域で取り組めることを考えていきます。

〈例〉 子ども：高齢者施設などへの訪問、地域での清掃活動

孤立：地域での居場所づくり、外出のきっかけづくり

※主要な施策は、「現状と課題」⇒「施策の内容」の順に主要な施策を記述します。

5 実現化方策【3頁～6頁】

施策を実施し取り組んでいく際の実施方針（進め方）について記述します。

（1）実現化方策①

総合計画「情報・共有」の地域福祉版として策定します。

- 〈例〉国の法律や制度の改正に関する分かりやすい情報提供
地域での住民ニーズなどの共有
個人情報保護をふまえた緊急時などの支援対応 など

（2）実現化方策②

総合計画「行財政運営」の地域福祉版として策定します。

- 〈例〉厳しい財政状況の中でのサービスの質の維持・向上
民間事業者との連携
地域での住民どうしが支え合う日頃からの関係づくり など

（3）実現化方策③

総合計画「参加・協働」の地域福祉版として策定します。

- 〈例〉学校や生涯学習との連携
成人男子（市外へのお勤めの男性など）の参加
子ども～高齢者の世代間交流

6 資料編【15頁】

- ・健康福祉関連の個別計画の紹介（「しろい保健福祉ガイドブック 2015」も含む）【計6頁】
- ・市内の福祉関連団体一覧／市内の福祉拠点施設一覧【計2頁】
- ・委員名簿／委員会要綱【計3頁】
- ・策定の経過／市民参加の様子（写真など）／職員検討の様子（写真など）【計4頁】

計画書全体【合計40頁～56頁】